

先生各位

# 新規受託項目のお知らせ

## 《HCV薬剤耐性変異解析》

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
 平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。  
 この度、HCV薬剤耐性変異解析検査受託につきまして下記のとおりご案内いたします。  
 今後ともよろしくご厚誼の程、お願い申し上げます。

謹白

### 記

- 受託開始日 2014年11月17日（月）受付分より
- 新規受託項目

項目コード	検査項目	検体量	容器	所要日数	実施料判断料	検査方法	注意事項	報告形式
5054	HCV薬剤耐性変異解析 (L31/Y93)	血清 0.5 (mL)	専用容器 5mL 	11～15日	未収載	ダイレクトシーケンス法 および Cycleave PCR法	開封厳禁 その他項目との重複依頼は不可	・L31 野生型／変異型／混合型 ・Y93 野生型／変異型／混合型 ・Y93 野生型 % ・Y93 変異型 % ・検出せず (PCR増幅せず)

- 本検査の対象はHCV-RNAジェノタイプ1b型が確認されている症例のみです。

2014年9月に改定された日本肝臓学会の「C型肝炎治療ガイドライン（第3版）」では、薬剤投与前に「極力Y93/L31変異を測定」する旨が記載されております。

慢性C型肝炎治療におけるダクラタスビル（NS5A阻害薬）/アスナプレビル（NS3プロテアーゼ阻害薬）併用療法は、患者負担の少ない経口薬剤による治療として期待が寄せられています。

ダクラタスビル/アスナプレビル併用療法は高い治療効果が報告されていますが、Y93変異が存在すると治療効果が減弱することが報告されています。

また、薬剤投与前においてNS5A領域のY93H変異を保有する患者が10%前後存在することが報告されており、経口薬剤に対する耐性を示すY93変異を検出することで、ダクラタスビル/アスナプレビル併用療法の効果予測および治療法選択の指標となることが期待されます。

なお、本検査はHCV RNAジェノタイプ1b型以外の解析はできませんのでご注意ください。